

【概要】乳幼児精神保健（乳幼児の心の健康）は、我が国においても世界全体においても、大きな社会的課題の一つです。その理由は、乳幼児虐待・ネグレクト、育児困難、子どもの貧困、戦時状況、などの多くの社会的問題があり、それらが直接に乳幼児の心を傷つけており、さらに後の発達に大きな否定的影響を与えているためです。乳幼児の心の問題は現在このような社会的課題に直面していますが、我が国では、乳幼児精神保健を系統的に学ぶ機会は、大学などの教育も含め、必ずしも多くありません。そこで我々は、まず乳幼児精神保健のほぼ全範囲をカバーできる入門セミナー（WEB・オンデマンド配信）を企画しました。本セミナーは、乳幼児に関わる現場で、多忙な中、四苦八苦されている支援者の方がちや、現在学生としてあるいは研究者としてこの領域を学んでおられる方がちや受講していただくことを企画しました。本セミナーにより、受講生の方々は、より短時間で乳幼児精神保健全体を大掴みでき、実践や学習の基礎として役立てることができると信じています。また、興味を持たれた講義のみ単発でも参加できます。乳幼児精神保健が専門である青木豊（あおきメンタルクリニック）と松本英夫（前東海大学医学部精神科教授；前児童精神医学会理事長）に加え、その領域で日本を代表される講師の先生に講義をお願いしています。

【セミナー内容全16回】※2025年4月よりオンデマンドで配信。視聴可能期間はそれぞれ約1ヶ月間です。
講義時間は内容によって異なりますが、1時間から1時間30分程度になります。

I. 基礎	2025年
1. 乳幼児精神保健の概要と乳幼児の心の問題を捉える3つの見方（青木豊）	4月10日（木）～5月8日（木）まで
2. 周産期の心理と精神病理とその支援（永田雅子）	5月10日（土）～6月8日（日）まで
II. 乳幼児の心の発達の危険因子	
◆3. 乳幼児の心の発達の様々なりリスク因子と貧困（青木豊）	6月10日（火）～7月8日（火）まで
◆4. 小児期逆境体験（藤原武男）	
III. 精神疾患・病理	
◎5. 神経発達症Ⅰ（松本英夫）	7月10日（木）～8月8日（金）まで
◎6. 神経発達症Ⅱ（松本英夫）	
□7. 心的外傷後ストレス障害とトラウマフォーカスト認知行動療法（1）（亀岡智美）	8月10日（日）～
□8. 心的外傷後ストレス障害とトラウマフォーカスト認知行動療法（2）（亀岡智美）	9月8日（月）まで
☆9. アタッチメント関連障がい（青木豊）	9月10日（水）～10月8日（水）まで
☆10. その他の障害（睡眠、摂食、行動など）（松本英夫）	
IV. 評価と支援・介入・治療	
11. 介入の基礎：乳幼児-養育者関係性評価と介入・支援（青木豊・井上美鈴）	10月10日（金）～11月8日（土）まで
◎12. 安心感の輪プログラムCOSとCOSP（北川恵）	11月10日（月）～12月8日（月）まで
◎13. 親子相互交流療法 PCIT（加茂登志子）	
14. 乳幼児-親心理療法（青木豊）	12月10日（水）～2026年1月8日（木）まで
15. 社会的養護（上鹿渡和宏）	2026年1月10日（土）～2月8日（日）まで
16. ライヴ配信-青木豊と松本英夫によるセミナーのまとめおよび質疑応答-	2026年3月初旬を予定

※◆◎□☆●の記号はそれぞれ、同じ記号のセミナーと同時期配信となります。（#16のアーカイブ配信あり）

参加費：全16回セット 70,000円（税込）*各回の単回参加可能 1回 5,500円（税込）
※学生は全て半額 ※施設単位でのお申込みをご希望の場合は事務局までご相談ください。

対象者：乳幼児精神保健に興味関心のある専門職（心理職・保健師・福祉職・看護師・保育士・小児科医・精神科医、研究者、大学院生）*臨床心理士資格認定ポイント申請予定

開催方式：オンデマンド配信 + ライヴ配信（各セミナーの配信期間にご注意の上、お申込みください。）
*録音・録画・画面撮影は固くお断りいたします。守秘義務にご賛同頂ける方のみご参加ください。

お申込み：下記URL、右記QRコードよりお申込みください。当クリニックのHPからもお申込み頂けます。

①通年参加（全16回）お申込みの方はこちら→ <https://forms.gle/kG7DCRunjJ4C4zYQ9>

②単回参加（ご希望回のみ）お申込みの方はこちら→ <https://forms.gle/EquMkUK2dEp3vEjU9>

*折り返し、受理通知と振込先をご案内申し上げます。原則として、参加費のご返金はいたし兼ねます。お申込みの際、メールアドレスは添付資料を受信できるアドレスをご登録ください。

締め切り：2025年3月8日（土）

※単回参加ご希望で尚且つご希望回の配信期間前であれば、左記締め切り後も申込みが可能ですのでセミナー事務局までメールにてご連絡ください。

お問い合わせ：医療法人春乃会 あおきメンタルクリニック 研修事務局 aoki.seminar5@gmail.com



【通年】



【単回】

講師略歴

永田雅子（臨床心理士/公認心理師）

現職：名古屋大学副総長・心の発達支援研究実践センター
こころの育ちと家族分野教授

専門：周産期精神保健, 乳幼児精神保健

略歴：名古屋大学教育学部卒業, 同大学教育発達科学研究科修了,
名古屋大学発達心理精神科学研究センター准教授を経て,
2017年より現職

著書：「妊娠・出産・子育てをめぐるところのケア:親と子の出会いからはじまる周産期精神保健（別冊発達）（編著）ミネルヴァ書房（2016）, 「新版 周産期のこころのケア」遠見書房（2017）, 「親と子のはじまりを支える——妊娠期からの切れ目のない支援と心のケア」（編著）遠見書房（2022）など

藤原武男（医学博士）

現職：東京科学大学大学院医歯学総合研究科教授

専門：社会疫学, ライフコース 疫学, 子ども虐待, 母子保健, メンタルヘルス

略歴：東京科学大学医学部卒, 東京科学大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了（医学博士）, ハーバード公衆衛生大学院修了（公衆衛生学修士）, 国立保健医療科学院生涯保健部行動科学室長, 国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部長等を経て, 2016年より現職

著作：医学からみた「幸福は人に伝わる」潮出版社（2018）
「子育てのエビデンス」大修館書店（2024）など

畠岡智美（精神科医）

現職：兵庫県こころのケアセンター副センター長

専門：児童精神医学, ト라우マ関連障害の臨床

略歴：和歌山県立医科大学卒業, 大阪府立病院を経て, 大阪府立中宮病院松心園（現大阪府精神医療センター）に勤務, 大阪府こころの健康総合センター, 大阪教育大学客員教授, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科招へい教授を併任, 2012年度より現職, TF-CBT（トラウマフォーカスト認知行動療法）の公認トレーナー, TF-CBTラーニングコラボラティブ研究会共同代表

著書：子どもへのトラウマ治療のための絵本シリーズ「こわい目にあったアライグマくん」誠信書房（2015） / 「子ども虐待とトラウマケア：再トラウマ化を防ぐトラウマインフォームドケア」金剛出版（2020） / 「子どものトラウマとPTSDの治療」誠信書房（2021）など

井上美鈴（臨床心理士/公認心理師・博士（心理学））

現職：東洋学園大学人間科学部講師, あおきメンタルクリニック
臨床心理士

専門：乳幼児精神保健

略歴：東京都立大学人文学部卒業, 専修大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得後退学, 精神科, 小児科等で臨床を行い,
清和大学短期大学部を経て現職

著書：低出生体重児の母親に関する臨床心理学的研究（2007）,
生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門（2015）（共著）,
子ども家庭支援の心理学（2019）（編著）

北川恵（臨床心理士/公認心理師, 教育学博士）

現職：甲南大学文学部教授

専門：発達臨床心理学, アタッチメント理論

略歴：京都大学教育学部教育心理学科卒業, 京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻修士課程・博士後期課程修了, 京都大学博士（教育学）, 四天王寺国際仏教大学専任講師・助教（准教授）を経て2008年甲南大学文学部准教授, 2012年より現職, 2019年～2020年オランダLeiden大学客員研究員, Adult Attachment Interview 認定コ－ター, Circle of Security Parenting program（日本語版「安心感の輪」子育てプログラム）認定トレーナー

著作：「アタッチメントに基づく評価と支援」（共編著）誠信書房（2017）, 『こころの科学』（日本評論社）にて「アタッチメントを学ぼうー関係性の理解と支援」を連載（2022年11月号から2024年9月号）など

加茂登志子（精神科医, 医学博士）

現職：日本PCIT研修センター所長, 若松町こころとひふの
クリニック

専門：女性精神医学, 親子相互交流療法（PCIT）, ト라우マ学
略歴：東京女子医科大学卒業, ハイデルベルグ大学精神科留学,
東京都女性相談センター 委託医（2022まで）, 2004年
東京女子大医学部神経精神科教授, 東京女子医科大学附
属女性生涯健康センター所長を経て現職

著書：「PCITから学ぶ子育て」小学館（2020）, 「PCITから
学ぶ0～3歳のこころの育て方」小学館（2023）など
上鹿渡和宏（児童精神科医, 博士〈福祉社会学〉）

現職：早稲田大学人間科学学術院教授, 同社会的養育研究所所長

専門：子ども家庭福祉

略歴：慶應義塾大学文学部哲学科倫理学専攻, 信州大学医学部医
学科卒業, 京都府立大学大学院公共政策学研究科博士後期
課程修了, 佐久総合病院, 静岡県立こころの医療センター,
京都市児童福祉センター, 信州大学医学部, 長野大学社会
福祉学部等を経て現職, 乳児院の多機能化・機能転換や英
国の里親研修プログラムの日本への導入, フォスタリング
機関や都道府県社会的養育推進計画の実践展開等に携わる

公職：厚生労働省「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」
構成員, こども家庭審議会委員, 社会的養育・家庭支援部
会委員, 虐待防止対策部会委員

著作：『ルーマニアの遺棄された子どもたちの発達への影響と回
復への取り組み 施設養育児への里親養育による早期介
入研究（BEIP）からの警鐘』チャールズ・A・ネルソン,
ネイサン・A・フォックス他を監訳

松本英夫（精神科医, 医学博士）

現職：東海大学名誉教授

専門：児童青年精神医学

略歴：浜松医科大学医学部医学科卒業, 同大学大学院医学研究科
修了, 同大学医学部精神神経科助手, 同講師, 国立療養所
天竜病院精神科医長をへて浜松医科大学医学部精神神経科
講師, 1999年～2000年ロンドン Institute of Psychiatry
（IOP）留学後, 東海大学医学部精神科助教授から同教授,
2022年定年退職, 医療法人丹沢病院, メンタルクリニック・
タダに非常勤医師

公職：一般社団法人日本児童青年精神医学会監事, 日本青年期精
神療学会会理事, 日本ADHD学会常務理事, 児童分析臨床研究
会運営委員, 「青年期精神療法」編集委員

著書：「乳幼児精神保健の基礎と実践ーアセスメントと支援のた
めのガイドブックー」（編著）（岩崎学術出版社）,
「心とかわる臨床心理ー基礎・実際・方法ー」（共著）
（ナカニシヤ出版）など

青木豊（精神科医, 医学博士）

現職：医療法人春乃会理事長, あおきメンタルクリニック院長
非常勤講師として東京科学大学, 東海大学医学部, 早稲田
大学招聘研究員

公職：NPO チャイルドファーストジャパン理事; 日本乳幼児医学・
心理学会評議員

専門：乳幼児精神医学・保健

略歴：山口大学医学部卒業後, 東海大学医学部精神科に所属, 1996
～1998年ルイジアナ州立大学にて乳幼児精神保健専門家の
ためのハリスフェローシップを取得, 後チューレーン大学
精神科にてフルタイム乳幼児研究員, 帰国後 相州メンタル
クリニック院長, 乳幼児専門外来を開設, 同専門外来は
あおきメンタルクリニックの専門外来に引き継がれる,
2011～2022年 目白大学人間学部子ども学教授, 2018年
あおきメンタルクリニック代表を経て現職

Strange Situation法（ABC型）認定コ－ター

著書：「アタッチメント（愛着）の理解と虐待による歪みへの支
援1, 2」丸善出版（2020） 監修（映像）「乳幼児精神
保健の基礎と実践ーアセスメントと支援のためのガイド
ブックー」（著編）岩崎学術出版社）
「乳幼児ー養育者の関係性精神療法とアタッチメント」
福村出版（2012）など